

# 令和2年度 広島県立呉特別支援学校 教育研究計画

教育研究部

## 1 研究テーマ

児童生徒が、自ら考え、学びたくなる授業づくり  
～ 適切な実態把握と目標設定を通して ～

## 2 テーマ設定に当たって

本校は、知的障害のある児童生徒を教育する特別支援学校である。肢体不自由や発達障害を併せ有する児童生徒も多く、障害の重度・重複化、多様化の傾向が見られ、一人一人の教育的ニーズに応じた指導が求められる。児童生徒が、卒業後、地域社会の一員として、豊かに生きていくことができるよう、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導及び支援が求められる。「広島県版『学びの変革』アクション・プラン」では「『資質・能力の育成を目指した主体的な学び』を促す教育活動を推進」しており、本校においても、児童生徒自身が考え、判断し主体的に学習活動に取り組む力を育てることが重要であると考えます。

本校では平成 29 年度から令和元年度まで「児童生徒が、自ら考え、学びたくなる授業づくり」のテーマの下、「目指す子供の姿※①」を目指して、様々な様式の整備や研修会の実施、ルーブリック評価表を活用した学習評価の研究を進めてきた。その結果、教育課程企画特別部会の論点整理で整理された「育成すべき資質・能力」を踏まえた目標設定や学習評価を行うことで、授業者が授業後の目指す子供の姿を明確にイメージして授業づくりに取り組むことができるようになってきており、それに伴って目標の妥当性に対する教員の自己評価や、児童生徒の主体的に学習に向かう態度の向上が見られた。一方で、児童生徒の実態把握の精度や、目標設定や学習評価に対する客観性については課題が見られた。

学習指導要領の改訂に伴い、本校では今年度から、小学部単一障害学級、中学部単一障害学級、高等部単一障害学級Ⅱ類型において、新たに国語と算数・数学を教科として編成することとした。様々な経験年数の教員がいる中で、教科として国語や算数・数学を指導していくことに不安を感じている教員も少なくない。そこで、テーマは引き続き、「児童生徒が、自ら考え、学びたくなる授業づくり」と設定し、3カ年計画で教科指導に関する研究を行っていく。1年次である今年度は、教科指導を行うために必要な実態把握や、その実態把握や基づいた根拠のある目標設定について取組を行い、教員の授業力の向上を図っていく。2年次では、本校で既に設定している「目指す子供の姿※①」を基に、教科指導における目指す子供の姿を具体的に設定することを目指す。3年次では、1年次、2年次での実態把握や目標設定、目指す子供の姿に関する研究を踏まえて、児童生徒が自ら考え、学びたくなる授業づくりに必要な授業展開や支援方法について研究を行っていく。今年度は、外部講師を招聘しての研修会や学部会での課題解決に向けた協議会、事例検討会等を通して、実態把握や目標設定の精度や客観性を高めていく。1年間の取組の中で、授業者が適切な実態把握や目標設定ができるようになることで、授業後の児童生徒の姿をより具体的にイメージできるようになり、より児童生徒の実態に合った指導内容や支援を設定することができ、そのことが児童生徒の主体的な学びを引き出すことにつながると考える。

(※①) 平成 28 年度教務部研修にて設定した。

小学部:夢中になって取り組む子供、中学部:考え、気付き、表現する子供、高等部:目的を持って活動する子供

(※②) 教育課程企画特別部会の論点整理でこれからの児童生徒に育成すべき資質・能力の要素について、「個別の知識・技能」「思考力・表現力・判断力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理している。これらの要素は、学校教育法が定める、学校教育において重視すべき三要素、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」と共通するものである(学教法第 30 条第2項)。

### 3 研究仮説

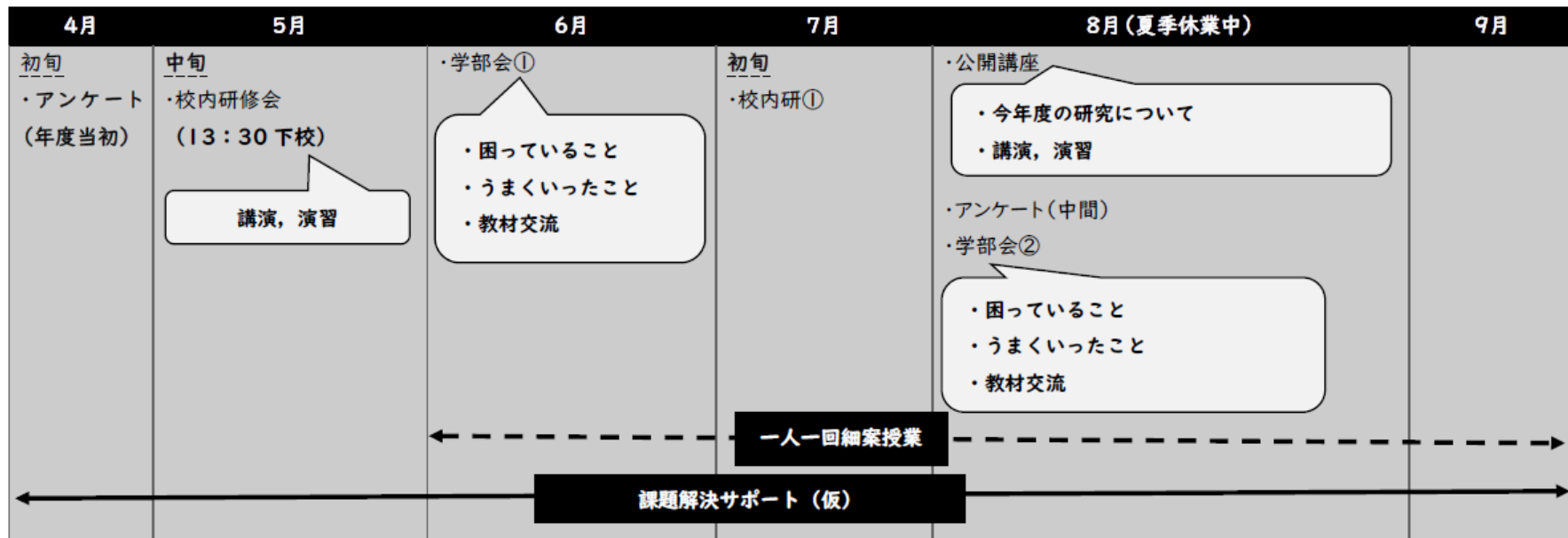
児童生徒一人一人の適切な実態把握を行い、それに基づいた目標設定を行うことで、児童生徒が「学びたくなる授業」となり、自ら考える姿が引き出されるであろう。

### 4 取組

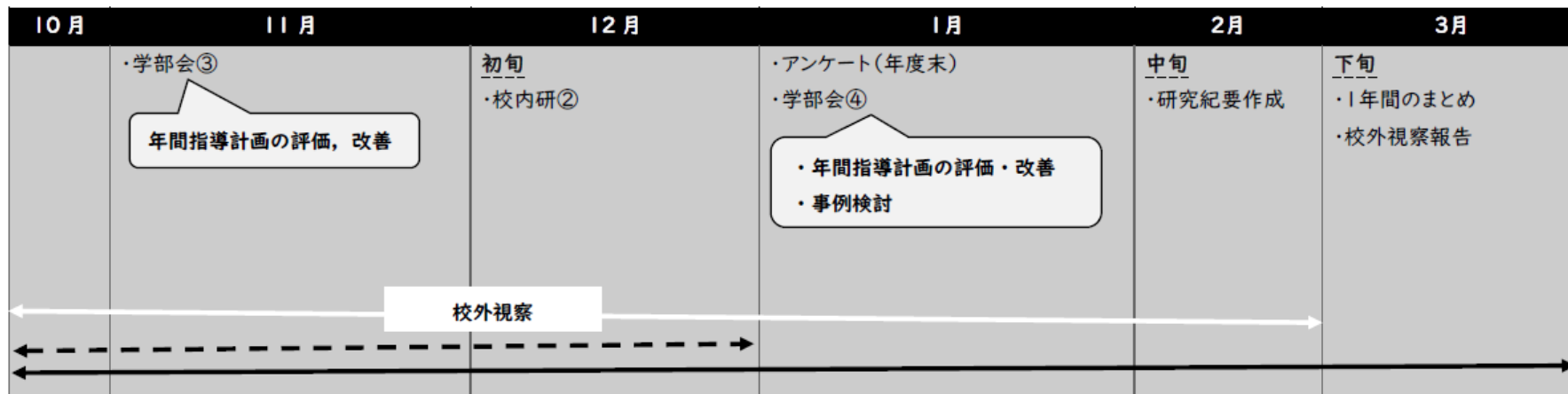
#### (I) 取組一覧(3ヵ年)

年次	取 組				
1年次	校内授業研究会 (小・中)	校内研修会	公開講座	一人一回細案授業	学部等 小グループでの協議会
2年次	校内授業研究会 (中・高)	校内研修会	公開授業研究会 (全学部)	一人一回細案授業	学部等 小グループでの協議会
3年次	校内授業研究会 (小・高)	校内研修会	公開授業研究会 (全学部)	一人一回細案授業	学部等 小グループでの協議会

(2) 取組一覧(令和2年度)



3



#### ア 校内授業研究会

(ア) 小・中学部から授業者を1名選出

(イ) 校内授業研究会事前協議会(所属する学部)

#### イ 校内研修会

(ア) 講師を招聘しての実態把握・教科指導に関する研修会

(イ) 公開講座の実施

#### ウ 一人一回細案授業及び事後協議(5月～12月)

#### エ 学部会における協議

(ア) 小人数をグルーピングしての情報共有, 情報交換, 演習等(年4回程度)

(イ) 年間指導計画の評価, 改善

#### オ 校外視察

(ア) 他校の取組の情報収取

### 5 検証

教育研究に関する教員アンケート(年度初め, 中間, 年度末)

### 6 研究成果について

研究紀要の発行及びホームページへの掲載